平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場会社名　株式会社富士ピー・エス　　上場取引所　東 福
コード番号　1848　URL　http://www.fujips.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 菅野 昇孝
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 梅林 洋彦　TEL 092-721-3464

四半期報告書提出予定日　平成25年11月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,424	5.7	14	―	14	―	406	―
25年3月期第2四半期	8,912	―	△44	―	△53	―	△76	―

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　407百万円　(―%)　25年3月期第2四半期　△78百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	22.96	―
25年3月期第2四半期	△4.30	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	15,556	5,042	32.4	284.48
25年3月期	15,741	4,679	29.7	264.01

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　5,042百万円　25年3月期　4,679百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	2.50	2.50
26年3月期	―	0.00			
26年3月期(予想)			―	2.50	2.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,400	17.1	160	9.5	120	△0.6	480	394.4	27.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	18,602,244 株	25年3月期	18,602,244 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	878,245 株	25年3月期	878,193 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	17,724,036 株	25年3月期2Q	17,724,348 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 4
４．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間における我が国の経済は、アベノミクスのプラス効果が波及し、個人消費の回復や円安による輸出環境の改善などから企業収益が持ち直し、景気回復傾向で推移しました。

当建設業界におきましては、平成24年度補正予算の進捗と震災復旧・復興事業の推進で公共事業が引き続き増加しており、民間建設投資につきましても、耐震補強事業やマンション建設を中心に増加・回復傾向が継続しております。収益環境につきましては、入札制度の見直しや設計労務単価の引き上げ等の施策により工事発注は円滑化されておりますが、今後工事進捗の最盛期を迎えるにつれて、現在直面している技術者・技能労働者の不足、資材費の上昇等の問題が拡大するおそれも大きく、先を見据えた対策が求められております。

このような状況のなかで、当社グループは安定経営、成長経営の実現を目指し、選別受注の徹底と受注量の確保、事業分野の拡大、生産・施工の効率化などを懸命に進め、全社総力を挙げて営業活動を展開いたしました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は11,766百万円(前年同四半期比77.9%増)、売上高は9,424百万円(前年同四半期比5.7%増)となりました。損益面では、営業利益14百万円(前年同四半期は営業損失△44百万円)、経常利益14百万円(前年同四半期は経常損失△53百万円)となりました。四半期純利益は特別利益に課徴金等引当金戻入額を計上したこともあり、406百万円(前年同四半期は四半期純損失△76百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社グループの主力である土木事業におきましては、公共投資等が引き続き増加傾向にあることから、総合評価落札方式への徹底した対応の強化に努めました。また、連結子会社の㈱シーピーケイの事業活動もおおむね順調に推移いたしました。

この結果、受注高は7,305百万円(前年同四半期比79.2%増)、売上高は5,811百万円(前年同四半期比4.1%減)、セグメント利益は368百万円(前年同四半期比13.0%減)となりました。

建築事業におきましては、引き続き増加・回復傾向にあるマンション事業や政府が推進する学校施設等の耐震補強事業の営業強化に努めました。

この結果、受注高は4,222百万円(前年同四半期比83.5%増) 、売上高は3,496百万円(前年同四半期比27.9%増)、セグメント利益は561百万円(前年同四半期比56.0%増)となりました。

不動産賃貸事業におきましては、テナント獲得の競争激化や賃料値下げ要請など厳しい市場環境が継続しておりますが、事業の安定化を目指して営業活動を展開いたしました。

この結果、受注高は231百万円(前年同四半期比1.5%減)、売上高は115百万円(前年同四半期比1.3%減)、セグメント利益は59百万円(前年同四半期比3.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、現金預金及び未成工事支出金等の減少等により、前連結会計年度末と比べ184百万円減少し、15,556百万円となりました。

負債合計は、短期借入金及び課徴金等引当金等の減少により、前連結会計年度末と比べ546百万円減少し、10,514百万円となりました。

純資産合計は、当第２四半期連結累計期間が純利益となったことから前連結会計年度末と比べ362百万円増加し、5,042百万円となりました。また、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.7ポイント上昇し、32.4％となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ768百万円減少し、1,282百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の増加はあったものの、売上債権の増加及び未払消費税等の減少、課徴金等の支払い等により170百万円の支出（前年同四半期は974百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により90百万円の支出（前年同四半期は97百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少等により507百万円の支出（前年同四半期は100百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年10月25日に公表いたしました「特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項ありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,051	1,282
受取手形・完成工事未収入金等	6,533	7,001
未成工事支出金	430	358
製品	162	175
材料貯蔵品	105	140
未収入金	185	154
その他	25	277
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	9,489	9,386
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	1,663	1,614
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	798	763
土地	3,371	3,371
リース資産（純額）	0	0
建設仮勘定	－	7
有形固定資産合計	5,833	5,755
無形固定資産		
のれん	166	157
その他	7	8
無形固定資産合計	173	166
投資その他の資産		
投資有価証券	116	118
その他	134	133
貸倒引当金	△6	△3
投資その他の資産合計	244	248
固定資産合計	6,251	6,170
資産合計	15,741	15,556

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,446	5,966
短期借入金	926	526
未払法人税等	46	26
未成工事受入金	1,077	1,007
預り金	578	716
完成工事補償引当金	16	16
工事損失引当金	27	10
その他	378	359
流動負債合計	8,498	8,629
固定負債		
長期借入金	648	585
退職給付引当金	1,068	1,069
課徴金等引当金	606	－
その他	240	231
固定負債合計	2,563	1,885
負債合計	11,061	10,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,379	2,379
資本剰余金	1,711	1,711
利益剰余金	921	1,283
自己株式	△334	△334
株主資本合計	4,677	5,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	1
その他の包括利益累計額合計	1	1
純資産合計	4,679	5,042
負債純資産合計	15,741	15,556

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	8,912	9,424
売上原価	8,072	8,434
売上総利益	840	989
販売費及び一般管理費	885	974
営業利益又は営業損失（△）	△44	14
営業外収益		
物品売却益	4	7
その他	6	7
営業外収益合計	11	15
営業外費用		
支払利息	13	8
支払保証料	5	5
その他	1	1
営業外費用合計	20	15
経常利益又は経常損失（△）	△53	14
特別利益		
固定資産売却益	－	10
課徴金等引当金戻入額	－	401
特別利益合計	－	411
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△53	426
法人税、住民税及び事業税	22	19
法人税等調整額	－	－
法人税等合計	22	19
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△76	406
少数株主利益	－	－
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△76	406

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△76	406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	0
その他の包括利益合計	△2	0
四半期包括利益	△78	407
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△78	407
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△53	426
減価償却費	173	156
のれん償却額	9	9
固定資産売却益	－	△10
退職給付引当金の増減額（△は減少）	23	0
工事損失引当金の増減額（△は減少）	38	△17
課徴金等引当金戻入額	－	△401
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	13	8
売上債権の増減額（△は増加）	△729	△468
未成工事支出金の増減額（△は増加）	△230	72
その他のたな卸資産の増減額（△は増加）	△17	△47
仕入債務の増減額（△は減少）	△45	519
未成工事受入金の増減額（△は減少）	△55	△70
預り金の増減額（△は減少）	84	138
未払消費税等の増減額（△は減少）	△125	△248
その他	△7	13
小計	△923	80
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△13	△8
法人税等の支払額	△38	△38
課徴金等の支払額	－	△204
営業活動によるキャッシュ・フロー	△974	△170
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△85	△96
貸付けによる支出	△15	△9
その他	3	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	200	△400
長期借入金の返済による支出	△63	△63
配当金の支払額	△35	△44
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	100	△507
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△971	△768
現金及び現金同等物の期首残高	1,925	2,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	954	1,282

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	土木事業	建築事業	不動産賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,063	2,733	116	8,912	－	8,912	－	8,912
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	6,063	2,733	116	8,912	－	8,912	－	8,912
セグメント利益	423	360	57	840	－	840	－	840

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設資機材のリース等であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書計上額の「売上総利益」と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成25年４月１日 至平成25年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	土木事業	建築事業	不動産賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,811	3,496	115	9,423	0	9,424	－	9,424
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	5,811	3,496	115	9,423	0	9,424	－	9,424
セグメント利益	368	561	59	989	0	989	－	989

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設資機材のリース等であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書計上額の「売上総利益」と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。